



愛知県立安城農林高等学校

土壌研究研修班

愛知県安城市池浦町茶筍木 1



From Waste to Value

トマト副産物を活用した
持続可能な養殖と農業

きっかけは、学校で栽培しているミニトマトの茎や葉といった農業残渣が大量に廃棄されている現状に疑問を抱いたことです。特に、都市部で増加している植物工場では農業廃棄物の処理が課題となっており、この問題に対処するためにプロジェクトを立ち上げました。

狙いは、トマト残渣を資源として再利用し、持続可能な方法で魚や家畜の餌として活用することで、廃棄物削減と食料問題の解決に貢献することです。ブラックソルジャーフライ（BSF）を使ってトマト残渣を分解し、育ったBSFを魚の餌として利用し、さらに魚の排泄物を野菜の肥料にすることで、魚と野菜の資源循環を地域内で実現する新たなモデルの確立を目指しています。